## 介護予防を推進する地域づくりを戦略的に進めるための研究 平成 30 年度 総括・分担研究報告書

## 目 次

## 総括研究報告

介護予防を推進する地域づくりを戦略的に進めるための研究	1
平成 30 年度 研究班組織	14
分担研究報告	
I. 個票レベルの研究	
高齢者のむせ症状と死亡との因果関係についての検討	17
高齢期の体格・代謝性疾患の組み合わせと認知症リスク	20
高齢者の近所づきあいと"やせ"の関連は農村と都市で異なるか?  JAGES 新潟研究より	27
日本人高齢者の調理頻度と野菜・果物摂取頻度に関する研究	29
うつに関する地域要因研究	33
高齢者の生きがいの有無・笑いの頻度と認知症予防の関連について	36
地域在住フレイル高齢者におけるスポーツグループ参加と 要介護認定発生との関係: JAGES 縦断データ分析	43
高齢者における地域の運動グループ参加割合と認知症リスクとの関連 —6年間の縦断データを用いたマルチレベル分析—	48
Ⅱ. 地域診断指標に基づく評価研究	
個人および地域レベルにおける要介護リスク指標と ソーシャルキャピタル指標の関連の違い―JAGES2010 横断研究― (※公開不可の論文のため、書誌情報と要旨のみ掲載)	51
介護予防のための地域診断指標—文献レビューと6基準を 用いた量的指標の評価	52
(※公開不可の論文のため、書誌情報と要旨のみ掲載)	
高齢者の運動機能低下およびスポーツの会参加と公園面積の地域相関分析	53

## Ⅲ. 地域づくり支援の研究

	「健康とくらしの調査」に向けた保険者共同研究会実施報告について	58
	「地域づくりによる介護予防」支援プロセス-横浜市での事例-	68
	日常生活圏域ニーズ調査データの分析支援結果を用いた 北海道 K 町での介護予防・生活支援対策推進調査事業との関連	76
	船橋市における健康スケール及び運動器チェックの指標開発	81
	児童館を合築した多目的交流施設「健康交流の家」の利用による 高齢者の健康への効果	92
	市町村職員への地域診断データ活用と組織連携支援に関する 準実験研究:高齢者の死亡リスクへの効果	97
研究		107